

「釧路湿原自然再生協議会」

第38回 再生普及小委員会

令和4年9月29日

釧路湿原自然再生協議会運営事務局

釧路湿原自然再生協議会
第38回 再生普及小委員会

日時：令和4年9月29日（木）14:00～15:30
対面およびオンライン（Zoom）開催

----- 議 事 次 第 -----

- 1, 開会
- 2, 議事
 - 1) 再生普及小委員会の活動報告
 - 2) その他

----- 配 布 資 料 -----

- ・ 議事次第
- ・ 再生普及小委員会 委員名簿
- ・ 第38回再生普及小委員会 出席者名簿
- ・ 第38回再生普及小委員会 資料
 - [資料1] 再生普及行動計画オフィスの取組について
 - [資料2] 小委員会事務局が実施する市民参加の取組み
 - [参考資料1] カヌーガイドラインポケット版
 - [参考資料2] 水循環技術資料概要版
- ・ 第37回再生普及小委員会 ニュースレター
- ・ 意見・要望アンケート用紙

釧路湿原自然再生協議会
再生普及小委員会 委員名簿

計:74名

■個人(34名)

(敬称略、五十音順)

No.	氏名	所属
1	荒谷 邦雄	九州大学大学院比較社会文化研究院
2	石岡 透	
3	伊藤 毅	上智大学
4	甲斐田 直子	筑波大学システム情報系(社会工学域)
5	金子 正美	酪農学園大学 農食環境学群 環境共生学類 教授
6	神戸 忠勝	
7	君塚 孝一	(有)自然文化創舎
8	木村 勲	
9	小松 繁樹	
10	坂井 一浩	八千代エンジニアリング株式会社北海道営業所
11	貞國 利夫	釧路市立博物館
12	佐野 修久	大阪市立大学大学院 都市経営研究科
13	清水 信彦	
14	新庄 久志	釧路国際ウェットランドセンター技術委員長(環境ファシリテーター)
15	杉澤 拓男	
16	関 基	八千代エンジニアリング株式会社北海道営業所
17	高崎 優子	北海道教育大学教育学部釧路校
18	高嶋 八千代	
19	高橋 忠一	
20	竹中 康進	
21	橘 利器	トラウトフォーラム会員
22	鶴間 秀典	
23	照井 滋晴	特定非営利活動法人 環境把握推進ネットワーク-PEG 代表
24	中村 太士	北海道大学大学院 農学研究院 教授
25	平岡 俊一	滋賀県立大学 環境科学部環境政策・計画学科 准教授
26	蛭田 真一	
27	松本文 雄	
28	矢吹 哲夫	北星学園大学 経済学部 教授
29	山本 太郎	一般財団法人北海道河川財団
30	吉中 厚裕	酪農学園大学
31	吉村 暢彦	北海道大学環境科学院
32	渡部 哲史	京都大学防災研究所
33	渡邊 剛弘	上智大学
34	渡辺 義勇	

■団体(25名)

(敬称略、五十音順)

No.	団体/機関名	代表者名
1	阿寒国際ツルセンター(グルス)	主任解説員 河瀬 幸
2	釧路観光連盟	会長 中山 勝範
3	釧路国際ウェットランドセンター	理事長 蝦名 大也
4	釧路自然保護協会	会長 神田 房行
5	釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	代表幹事 芳賀 孝朋
6	釧路湿原国立公園連絡協議会	会長 蝦名 大也

No.	団体/機関名	代表者名
7	釧路シヤケの会	会長 清水 信彦
8	釧路武佐の森の会	会長 大西 英一
9	こどもエコクラブくしろ	近藤 一燈美
10	公益財団法人日本鳥類保護連盟釧路支部	支部長 本藤 泰朗
11	公益財団法人日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ	チーフレンジャー 原田 修
12	公益財団法人北海道環境財団	理事長 小林 三樹
13	国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 寒地水圏研究グループ 水環境保全チーム	上席研究員 巖倉 啓子
14	さっぽろ自然調査館	代表 渡辺 修
15	道東のイトウを守る会	会長 神田 房行
16	塘路ネイチャーセンター	センター長 鷲見 祐将
17	特定非営利活動法人 EnVision環境保全事務所	理事長 赤松 里香
18	特定非営利活動法人 くしろ・わっと	理事長 小林 友幸
19	特定非営利活動法人 タンチョウ保護研究グループ	理事長 百瀬 邦和
20	特定非営利活動法人 鶴居タンチョウ元亀村	事務局長・理事 佐藤 吉人
21	特定非営利活動法人 トラストサルン釧路	理事長 黒澤 信道
22	北海道ウチダザリガニ防除ネットワーク	代表 高橋 克巳
23	北海道標茶高等学校	校長 小森 章史
24	北海道プロフェッショナルフィッシングガイド協会	会長 テディ齋藤
25	ボランティアネットワークチャレンジ隊	代表 佐竹 直子

■オブザーバー(5団体)

(敬称略)

No.	団体/機関名	代表者名
1	釧路商工会議所	会頭 栗林 定正
2	釧路町商工会	会長 土井 茂人
3	標茶町商工会	会長 田中 進
4	弟子屈町商工会	会長 竹森 英彦
5	鶴居村商工会	会長 大津 泰則

■関係行政機関(10機関)

(敬称略)

No.	団体/機関名	代表者名
1	国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部	部長 井上 勝伸
2	環境省 釧路自然環境事務所	所長 川越 久史
3	林野庁 北海道森林管理局	局長 上 練三
4	北海道 釧路総合振興局	局長 菅原 裕之
5	北海道教育庁 釧路教育局	局長 相川 芳久
6	釧路市	市長 蝦名 大也
7	釧路町	町長 小松 茂
8	標茶町	町長 佐藤 吉彦
9	弟子屈町	町長 徳永 哲雄
10	鶴居村	村長 大石 正行

釧路湿原自然再生協議会
第38回 再生普及小委員会 出席者名簿

■個人(9名) (敬称略、五十音順)

No.	オンライン参加	氏名	所属
1		君塚 孝一	有限会社自然文化創舎
2	○	坂井 一浩	八千代エンジニアリング株式会社北海道営業所
3		清水 信彦	
4	○	関 基	八千代エンジニアリング株式会社北海道営業所
5		高嶋 八千代	
6		高橋 忠一	
7		照井 滋晴	特定非営利活動法人環境把握推進ネットワーク-PEG
8	○	吉中 厚裕	酪農学園大学
9		渡部 哲史	京都大学防災研究所

■団体(11団体) (敬称略、五十音順)

No.	オンライン参加	団体/機関名	出席者名
1		釧路観光連盟	専務理事 長沼 大平
2		釧路国際ウェットランドセンター	事務局次長 元岡 直子
3		釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	代表幹事 芳賀 孝朋
4		釧路湿原国立公園連絡協議会	事務局次長 元岡 直子
5		釧路シャケの会	事務局長 渡邊 雅貴
6	○	公益財団法人 北海道環境財団	事務局長 東郷 典彰
7		国立研究開発法人 土木研究所寒地土木研究所 水環境保全チーム	上席研究員 柿沼 孝治
8		こどもエコクラブくしろ	近藤 一燈美
9	○	さっぽろ自然調査館	代表 渡辺 修
10	○	特定非営利活動法人EnVision環境保全事務所	研究員 小林 恒平
11		特定非営利活動法人タンチョウ保護研究グループ	井上 雅子

■オブザーバー(1機関) (敬称略)

No.	オンライン参加	団体/機関名	出席者名
1	○	弟子屈町商工会	事務局長 豊島 洋樹

■関係行政機関(6機関) (敬称略)

No.	オンライン参加	団体/機関名	出席者名
1		国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部	治水課長 市川 嘉輝
2		環境省 釧路自然環境事務所	国立公園企画官 柳川 智巳
3		林野庁 北海道森林管理局	釧路湿原森林ふれあい推進センター 所長 南 達彦
4		北海道 釧路総合振興局	保健環境部 環境生活課 課長 木村 和徳
5	○	北海道教育庁 釧路教育局	教育支援課 社会教育指導班 主査 森 健太郎
6		釧路市	市民環境部 環境保全課 課長補佐 元岡 直子

「釧路湿原自然再生協議会」

第38回 再生普及小委員会

資 料

令和4年9月29日

釧路湿原自然再生協議会運営事務局

令和4年9月29日
第38回 再生普及小委員会

再生普及行動計画オフィスの 取組について

再生普及行動計画オフィス
(環境省釧路自然環境事務所)

1

目次

1. ワーキンググループ等の開催状況
2. 情報発信の取組
3. 体験機会提供の取組
4. 市民との連携推進の取組
5. 湿原学習のための学校支援WGの取組課題の推進
6. 他小委員会との連携について

2

1. ワーキンググループ等の開催状況

◆第15回 再生普及推進のための連携チーム

日時：令和4年6月29日（水） 13：30～15：30

場所：釧路地方合同庁舎5階 第1会議室

参加者：12名

議事：①小委員会事務局が実施する市民参加の取組みについて
②湿原の保全や再生に係る情報の発信について
③再生普及小委員会と他委員会との連携について

<主な意見など>

①について

・コロナ禍でのイベント開催における感染防止策について

> 参加人数は、各場面において、ソーシャルディスタンスを確保できる人数とする

> 人数を制限することはデメリットだけではなく、イベントの質の向上や湿原への負荷の減少にもつながるため

②について

・図書館等への資料収蔵は、現在の利用や普及の為だけではなく、将来的に非常に重要な資料となり、重要な取組である

・（動画やSNSの活用について）広報につながる一方で、希少種等の取り扱いや、肖像権への配慮が必要。トラブルが生じた場合に責任の所在が不明瞭となるため、主催者側からの説明も必要では。

③について

・カーヌーガイドライン改訂版の普及に関し、安全面および湿原保護の両面でルールを統一していくには、こうしたガイドラインの普及を図っていくことが必要。

※次回の開催：令和5年1～2月頃を予定

3

1. ワーキンググループ等の開催状況

◆第15回 湿原学習のための学校支援ワーキンググループ

日時：令和4年8月5日（金） 14：00～15：50

場所：釧路地方合同庁舎5階 第1会議室

参加者：18名

議事：ワーキンググループの取組み報告

<主な意見など>

○動画資料について

・湿原を訪問できる回数が限られている中、動画等の教材は大変助かる。

・一方通行の情報提供になりがちであり、双方向のやり取りができる仕組みがあると、より興味が深まり、相互作用ができるのでは。質問できる専門家情報などがあると有難い。

・動画だと、身近で実際に行ける場所として捉えられていないところがある。マップで場所を示すなど、様々な情報をリンクさせることで、より身近でわかりやすい資料になる。

○キャリア教育との関連付けについて

・5年生で湿原に関わる様々な人を知り、6年生で実際の職業や人に話が広がっていくことは、つながりとしては大変面白い。

○発表会のコーディネートについて

・学校だけではなく自治体施設で紹介する一つの流れができていくが、子どもたちが調べたものは誰に向けたものなのか、学校の学習の一環という形から抜け出して、関係者による研究の評価など、やりがいがある発表形態を考える必要がある。

○その他

・湿原そのものからアプローチするだけでなく、身近なものから辿って行って視野を広げるという学習展開の方が自然な形で子どもの興味を喚起することができるのではないかと。

・調べ学習をしていく中で、手法的な部分と、誰に伝えていくかという出口の部分に課題がある。各学校や関係機関をつなげて発表していくことは、お互いに大変良い刺激にもなるし、やる気を喚起する部分にもなる。

※次回の開催：令和5年1月を予定

4

2. 情報発信の取組

◆パネル展の開催

釧路湿原自然再生事業パネル展

- 釧路フィッシャーマンズワーフMOO
期 間：令和2年7月16日（金）～
内 容：自然再生事業紹介パネル9点
- 塘路湖エコミュージアムセンター
期 間：令和4年6月24日（金）～7月28日（木）
内 容：自然再生事業紹介パネル11点



釧路フィッシャーマンズワーフMOO



塘路湖エコミュージアムセンター

5

2. 情報発信の取組

◆パネル展の開催

現地見学会紹介ポスターパネル展

- 釧路湿原野生生物保護センター
期 間：令和3年9月6日（月）～
内 容：現地見学紹介パネル5枚
- 塘路湖エコミュージアムセンター
期 間：令和4年5月10日（火）～
内 容：現地見学紹介パネル5枚
- 釧路湿原森林ふれあい推進センター
期 間：令和4年8月2日（火）～
内 容：現地見学紹介パネル5枚



塘路湖エコミュージアムセンター



釧路湿原森林ふれあい推進センター

6

2. 情報発信の取組

◆パネル展の開催

イベントへの出展

- くしろエコ・フェア2022（予定）
期 間：10月1日（土）10：00～16：00
場 所：釧路市中央図書館 7階多目的ホール・展示室
内 容：「釧路湿原再生事業地見学会」ポスター展、湿原クラフト「湿原のなかまたち」展
- 釧路市生涯学習フェスティバル「まなトピア2022」（予定）
期 間：11月12日(土)、13日(日)
場 所：まなぼとと幣舞
内 容：パネル展示、ワンダグリンダ参加団体活動紹介、湿原クラフト体験教室



令和3年度 まなトピア出展時の様子

7

2. 情報発信の取組

◆図書館等への資料整備

釧路市中央図書館への資料収蔵

- 経緯、背景
 - ・第4期再生普及行動計画の推進のため、情報発信の拡充を目的に、令和2年度より検討を開始。
 - ・協議会として、資料を保存する必要性
- 令和3年度
 - ・関連資料の収集、会議資料製本版の作成
 - ・釧路市中央図書館へ収蔵
 - ・配架、一般貸出しを開始
 - ・資料展の実施（図書館主催）
- 令和4年度
 - ・令和3年度中に発行した資料を追加収蔵
 - ・収蔵資料一覧をWEB公開



収蔵した会議資料



釧路市中央図書館で開催した資料展（R4.2月）

8

2. 情報発信の取組

◆図書館等への資料整備

令和4年度の取組_流域自治体図書館との連携等

- 流域自治体図書館について
 - ・公立図書館、図書室：6施設
 - ・大学図書館：3施設
- 今後の方針
 - ・協議会としての資料保存は、釧路市中央図書館との連携を継続。
 - ・他図書館とも繋がりを持ち、今後新たに協議会名で発行する資料は、広く配架先を検討する。
 - ・相互貸借システムも活用できるため、他図書館については中央図書館と同様の収蔵は行わず資料収蔵以外の連携方法も検討する。

9

2. 情報発信の取組

◆WEBサイトへの情報掲載等

WEBサイトへの情報掲載

- みんなで進める！釧路湿原の自然再生 HP
ワンダグリンドの活動状況や釧路湿原で行われる行事情報、推進連携チームおよび再生普及小委員会、学校支援ワーキンググループ会合資料等を掲載。
- きづく わかる まもる 釧路湿原 HP
学校教育における湿原の活用に関する情報を掲載。
(詳細は後述)



みんなで進める！釧路湿原の自然再生 HP
(<https://www.kushiro-wanda.com/>)



きづく わかる まもる 釧路湿原 HP
(<https://www.kushiro-ee.jp/>)

10

2. 情報発信の取組

◆WEBサイトへの情報掲載等

メールニュース（ワンダグリнда☆ニュース）の配信

- ・月2回程度、ワンダグリндаの活動状況や
釧路湿原で行われる行事情報を配信中
- ・月1回程度、メールニュースの内容を掲示用に
まとめ、関係施設に郵送、掲出を依頼。



ワンダグリнда☆ニュース（掲示用）

3. 体験機会提供の取組

◆参加機会の拡充

市民講座の企画・実施

- 目的
第4期再生普及行動計画の推進のため、
市民参加の拡充、湿原にふれる機会をひろげることを目的に、
一般市民を対象とした講座の企画、実施を令和2年度より実施。
- 令和4年度予定
湿原を歩き、地域の歴史に触れる！
釧路湿原の『すごい！』を体験しよう
日時：（第1回座学）令和4年10月9日（日）10:00～12:00
（第2回FW）令和4年10月15日（土）9:30～12:00
（第3回FW）令和4年10月22日（土）9:30～12:00
定員：10名（参加無料、申し込み多数時は抽選）
対象：一般市民
講師：新庄 久志 氏（釧路国際ウェットランドセンター技術委員長）
坪岡 始 氏（標茶町博物館 学芸係長）



令和4年度 市民講座チラシ

3. 体験機会提供の取組

◆参加機会の拡充

フィールドワークショップの企画・実施

- 目的
ワンダグリンドプロジェクト登録者および委員を主な対象に再生事業の理解促進を目的に毎年実施。

- 令和4年度予定
湿原の川のつぶやきを ～再生事業の幌呂川～

日 時：令和4年11月1日（火）
定 員：10名（参加無料）
対 象：ワンダグリンド・プロジェクト2022参加者、再生普及小委員会委員
場 所：温根内堤防北側 湿原域
案内人：新庄 久志 氏（釧路国際ウェットランドセンター技術委員長）



令和4年度フィールドワークショップチラシ
(参加者募集中)

4. 市民との連携推進の取組

◆ワンダグリンド・プロジェクトの推進

令和4年度の概要

- プロジェクト登録者について（令和4年8月末時点）
参加登録者：58団体・個人
連 携 校：5校
広 報 支 援：8施設

- 広報、啓発について
・ワンダグリンド活動報告書（紙版）をWEBに移行。
情報発信する内容を整理。

<今後の予定>

- ・未掲載団体の情報を追加
- ・WEBページの普及・周知
(URL：<https://www.kushiro-wanda.com/projects/>)
- 自然再生協議会等が実施する現地見学会等の取組のとりまとめ
・現地見学会等の情報とりまとめを実施（資料2参照）
・ポスターやチラシによる広報支援等を実施



参加団体活動紹介ページの広報

4. 市民との連携推進の取組

◆ワンダグリダ・プロジェクトの推進

参加団体活動紹介ページについて



ワンダグリダ 参加団体カタログページ



参加団体詳細ページ

5. 湿原学習のための学校支援WGの取組課題の推進

◆取組課題 1 「湿原を題材とした学習素材の収集、活用促進」

映像資料等のとりまとめ、学校への周知・提供

●実施内容

- ・湿原学習の素材として動画を学校に提供
- ・WEBサイトに動画を追加公開
- ・各教育委員会を通じて周知

●令和4年度に追加公開した資料

木のお医者さん崎川先生に聞いてみよう！

- ・木にとって大切なもの
- ・木が教えてくれること
- ・樹木医のお仕事
- ・樹木医を目指した理由
- ・木を守るために必要なこと

●幌呂中学校 モデル授業実施記録の作成・提供

(※非公開)

- ・ハンキ林 (堤防沿いの林～枯れ木の林)
- ・ミズバショウ群生地へ
- ・湿原の中の川
- ・ヨシ原 スゲ原



動画公開ページ

「きづく わかる まもる 釧路湿原」HP内
(URL: <https://kushiro-ee.jp/movie/index.html>)

5. 湿原学習のための学校支援WGの取組課題の推進

◆取組課題2 「自然再生の学校教育への活用促進」

自然再生事業地を活用したモデル授業の実施

- 対象学校
標茶町立標茶小学校5年生、38名
- 場所
達古武地域自然再生事業地 周辺
(夢ヶ丘遊歩道、達古武湖畔)
- 実施内容
 - ・教員の案内(令和4年5月18日)
 - ・フィールド学習1回目(令和4年5月27日)
 - 2回目(令和4年8月26日)



フィールドの下見(学校教員の案内)
令和4年5月18日

17

5. 湿原学習のための学校支援WGの取組課題の推進

◆取組課題2 「自然再生の学校教育への活用促進」

自然再生事業地を活用したモデル授業の実施



フィールド学習(1回目:5月27日)フィールド観察、探求テーマ探し



フィールド学習(2回目:8月26日)テーマを踏まえた活動

18

5. 湿原学習のための学校支援WGの取組課題の推進

◆取組課題3「学校教員の関心喚起、湿原の教育的な価値の普及」ほか 釧路湿原流域環境を題材とした学びのプロセスの支援、発表の場作り (フィールド学習のコーディネート①)

- 対象学校
釧路町立別保小学校5年生、30名
- 場所
細岡展望台、細岡駅周辺
- 実施内容
 - ・教員の案内（令和4年5月27日）
 - ・フィールド学習（令和4年6月3日）
 - ・湿原景観、竪穴住居跡、丘陵地の森林の観察、湧水量の測定、透水実験等を実施

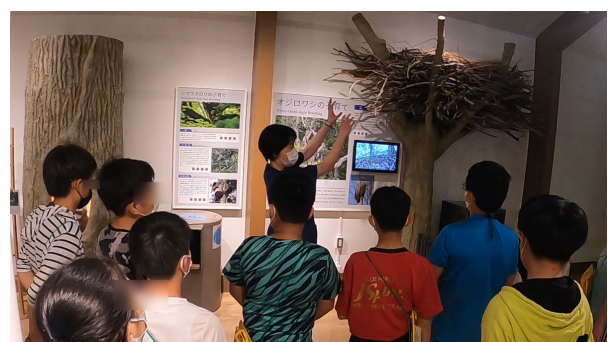


19

5. 湿原学習のための学校支援WGの取組課題の推進

◆取組課題3「学校教員の関心喚起、湿原の教育的な価値の普及」ほか 釧路湿原流域環境を題材とした学びのプロセスの支援、発表の場作り (フィールド学習のコーディネート②)

- 対象学校
釧路市立中央小学校5年生23名、6年生17名
- 場所
温根内VC、温根内木道、釧路湿原野生生物保護センター
- 実施内容
 - ・教員の案内（令和4年6月30日）
 - ・フィールド1回目（令和4年7月7日）
2回目（令和4年8月25日）
 - ・湿原植物等フィールドの観察、テーマ探し（5年生）、キャリア教育に係る講話（6年生）



20

5. 湿原学習のための学校支援WGの取組課題の推進

◆取組課題3「学校教員の関心喚起、湿原の教育的な価値の普及」ほか 釧路湿原流域環境を題材とした学びのプロセスの支援、発表の場作り (フィールド学習のコーディネート③)

- 対象学校
鶴居村立幌呂中学校1,2年生
- 場所
釧路川右岸堤防沿いの湿原
- 実施内容
 - ・フィールド学習（令和4年5月18日）
 - ・簡易調査をしながら湿原探索、水環境等に応じて変化する植生の成立要因の考察等。

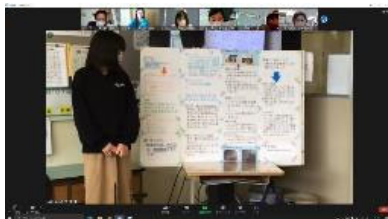


21

5. 湿原学習のための学校支援WGの取組課題の推進

◆取組課題3「学校教員の関心喚起、湿原の教育的な価値の普及」ほか 釧路湿原流域環境を題材とした学びのプロセスの支援、発表の場作り (発表会のコーディネート等)

- 令和4年度の予定
小学校4校を対象に、学習発表会のコーディネートや助言、学外展示・発表会等を実施。
- 令和3年度の実施状況
 - ・発表会のコーディネート、とりまとめにあたっての助言



別保小学校5年生 学習発表会
(令和4年2月17日) ※オンライン



標茶立標茶小学校5年生 学習のふりかえり
(令和4年3月14日) ※オンライン

- ・学外での研究発表ボードの展示（釧路湿原サイエンスフェア）



釧路市子ども遊学館での展示



釧路市役所での展示

22

6. 他小委員会との連携について

◆地域づくり小委員会との連携事例

カヌーガイドライン改訂版の広報、活用の促進

●経緯

- ・令和2年9月：第4期釧路湿原自然再生普及行動計画において、地域づくり小委員会と再生普及小委員会の連携について明記
- ・令和3年度末：地域づくり小委員会において、カヌーガイドライン改訂版を発行・公表
- ・令和4年3月：第11回地域づくり小委員会において、カヌーガイドライン改訂版の広報施策について議論
- ・令和4年度中にポケット版を発行予定



カヌーガイドライン R3改訂版



カヌーガイドライン ポケット版（未定稿）

23

6. 他小委員会との連携について

◆地域づくり小委員会との連携事例

カヌーガイドライン改訂版の広報、活用の促進

●広報の方向性と連携のかたち（地域づくり小委員会の方針）

①ガイドラインの浸透を目指す（特に趣旨・内容の理解促進）

ターゲット：関係機関、自治体、アウトドア事業者、観光協会等

目的：カヌー体験の場の提供側からも、より共感を得て、活用・運用への協力を促す

②個人個人の行動へ繋げる（特にポケット版を活用した理解促進）

ターゲット：旅行業者、カヌー利用者等

目的：「ルール・マナー（ガイドラインの内容）を守ること」＝「釧路湿原の環境保全に繋がる」＝「大自然の中でのカヌーが持続可能なものとなる」という循環を理解し、個人個人が責任をもった行動を取ることに繋げる。ポケット版を活用して、ガイドラインの存在を普及させる



周知用ポスターの施設への掲示状況

24

小委員会事務局が実施する市民参加の取組み

●：主催事業 ○：協力事業

主催	小委員会事務局が主催または支援を行う取組み
湿原再生	<p><釧路開発建設部治水課></p> <p>● <u>ヨシを植えてみよう！未利用地を湿原に戻す取組み～「幌呂地区湿原再生」現地見学会</u></p> <p>日程：令和4年7月30日（土） 場所：幌呂地区湿原再生箇所（鶴居村下幌呂） 内容：事業説明＋現場見学＋自然再生体験（ヨシ移植・ハンノキ調査） 対象：一般市民</p>
	<p><環境省></p> <p>未定</p>
河川環境再生	<p><釧路開発建設部治水課></p> <p>● <u>～カヌーによる蛇行河川を体験～「茅沼地区旧川復元」現地見学会</u></p> <p>日程：令和4年10月1日 場所：茅沼地区旧川復元箇所（標茶町コッタロ原野）、 内容：事業説明＋現場見学（復元箇所カヌー川下りほか） 対象：一般市民</p>
森林再生	<p><林野庁 釧路湿原森林ふれあい推進センター></p> <p>● <u>若者 Yo！雷別へ植樹に行こう Yo！</u></p> <p>（雷別国有林の森林再生のための森林づくり体験）</p> <p>日程：令和4年6月26日（日） 場所：雷別国有林（標茶町雷別） 内容：広葉樹の植樹と保護管（ツリーシェルター）の被覆等の広葉樹の森林づくり 対象：一般市民</p> <p>● <u>雷別ドングリ倶楽部</u></p> <p>（雷別国有林の森林再生のためのボランティア活動）</p> <p>日程：令和4年9月28日（水） 場所：雷別国有林（標茶町雷別） 内容：広葉樹の植樹と保護管（ツリーシェルター）の被覆等の広葉樹の森林づくり</p>
	<p><環境省></p> <p>● <u>森林とあそぼう 2022 自然再生を考える調査体験会</u></p> <p>日時：令和4年9月17日（土） 場所：達古武地域森林再生事業実施箇所 内容：森林に生息する生き物や、水辺の生き物の捕獲調査 対象：一般市民 ※釧路市生涯学習センターと共催で実施）</p>

●：主催事業 ○：協力事業

主催	小委員会事務局が主催または支援を行う取組み
水循環	<p><釧路開発建設部治水課></p> <p>●<u>釧路川流域の水・物質循環の体験(仮)</u></p> <p>日程：令和4年10月～12月 場所：釧路湿原 内容：水や土砂などのメカニズムの現地見学 対象：一般市民</p>
地域づくり	(今年度の活動内容検討中)
土砂流入	<p><北海道釧路総合振興局 釧路建設管理部治水課></p> <p>●<u>久著呂川自然再生の見学ツアー</u></p> <p>日程：令和4年9月8日(木) 場所：久著呂川流域及び事業実施箇所 内容：事業説明+現場見学 対象：一般市民</p>
再生普及	<p><環境省></p> <p>○<u>鶴居村立幌呂中学校【実施支援】</u></p> <p>日程：令和4年5月18日(水) 場所：釧路湿原右岸堤防横の湿原 内容：フィールドワーク(湿原植生、湿原内の河川の観察) 対象：幌呂中学校1年生、2年生生徒</p> <p>○<u>標茶町立標茶小学校①【実施支援】</u></p> <p>日程：令和4年5月27日(金) 場所：達古武湖(湖畔)、夢が丘木道 内容：フィールドワーク(湖畔、湿原植生の観察) 対象：標茶小学校5年生児童</p> <p>○<u>釧路町立別保小学校【実施支援】</u></p> <p>日程：令和4年6月3日(金) 場所：細岡展望台、周辺フィールド 内容：フィールドワーク(湿原景観、湧水の観察ほか) 対象：別保小学校5年生児童</p> <p>○<u>釧路市立中央小学校①【実施支援】</u></p> <p>日程：令和4年7月7日(木) 場所：温根内木道 内容：フィールドワーク(湿原植生の観察) 対象：中央小学校5年生児童</p>

●：主催事業 ○：協力事業

主催	小委員会事務局が主催または支援を行う取組み
再生普及	<p><環境省></p> <p>○釧路市立中央小学校②【実施支援】</p> <p>日程：令和4年8月25日（木）</p> <p>場所：温根内木道</p> <p>内容：フィールドワーク（湿原植生の観察）</p> <p>対象：中央小学校5年生児童</p> <p>○標茶町立標茶小学校②【実施支援】</p> <p>日程：令和4年8月26日（金）</p> <p>場所：達古武湖（湖畔）、夢が丘木道</p> <p>内容：フィールドワーク（湖畔、湿原植生の観察）</p> <p>対象：標茶小学校5年生児童</p> <p>●市民講座</p> <p>日程：令和4年10月9日（日）《座学》</p> <p> 令和4年10月15日（土）《フィールドワーク①》</p> <p> 令和4年10月22日（土）《フィールドワーク②》</p> <p>場所：《座学》釧路地方合同庁舎</p> <p> 《フィールドワーク①》釧路湿原右岸堤防沿いの湿原（鶴居村温根内）</p> <p> 《フィールドワーク②》標茶町博物館およびサルボ・サルルン展望台周辺</p> <p>内容：3回連続講座として実施</p> <p>対象：一般市民</p> <p>●第28回フィールドワークショップ</p> <p>日時：令和4年11月1日（火）</p> <p>場所：温根内堤防北側湿原域</p> <p>内容：フィールドワーク</p> <p>対象：ワンダグリーンダ・プロジェクト参加者、再生普及小委員会委員</p>